



2025年5月12日

各位

会社名 アキレス株式会社  
代表者名 代表取締役社長 日景 一郎  
(コード番号 5142 東証プライム)  
問合せ先 常務取締役管理部門統轄兼  
CSR 担当兼経理本部長 河野 和晃  
(TEL 03-5338-8238)

## 特別利益、特別損失の計上、通期業績予想と実績値の差異 及び役員報酬の減額に関するお知らせ

当社は、2025年3月期の連結及び個別決算において、下記のとおり特別損失と特別利益を計上いたしました。

また、2025年2月10日に公表いたしました2025年3月期(2024年4月1日~2025年3月31日)の業績予想値と実績値に差異が生じたので下記の通りお知らせいたします。

### 記

#### 1. 特別損失の計上(連結)について

中国子会社の阿基里斯(佛山)新型材料有限公司が保有する車輛資材事業の固定資産について、「固定資産の減損に係る会計基準」に基づき将来の回収可能性を検討した結果、自動車市場の急激な環境変化に伴い、当初の事業計画において想定していた収益が見込めなくなり、短期的な業績改善が難しいとの判断により、2025年3月期連結決算において、3,256百万円の減損損失を特別損失として計上いたしました。

#### 2. 特別利益の計上(個別・連結)について

2025年2月26日に公表いたしました「退職給付信託の一部解約に関するお知らせ」に記載のとおり、退職給付信託の一部の解約・返還に伴い未認識数理計算上の差異を一括償却することになるため、2025年3月期連結決算及び個別決算において、1,958百万円の退職給付信託返還益を特別利益として計上いたしました。

#### 3. 特別損失の計上(個別)について

当社が保有する連結子会社である阿基里斯(佛山)新型材料有限公司の株式について、同社の経営成績及び財政状態の低下により株式の実質価値が著しく低下したため「金融商品に関する会計基準」に基づき2025年3月期個別決算において、3,836百万円の関係会社株式評価損を特別損失として計上いたしました。

なお、当該関係会社株式評価損は連結決算上消去されるため、連結業績に与える影響はありません。

4. (1) 2025年3月期通期連結業績予想値と実績値の差異 (2024年4月1日～2025年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	84,000	200	500	1,850	132.47
実績値 (B)	79,093	△436	△220	427	30.67
増減額 (B-A)	△4,906	△636	△720	△1,422	
増減率 (%)	△5.8	—	—	△76.9	
(ご参考) 前期実績 (2024年3月期)	78,607	△958	△171	△8,210	△560.30

(2) 差異の理由

売上高は、国内での住宅市況の低迷や車輦内装用資材の苦戦に加え、海外子会社における中国・北米市場での車輦内装用資材等の苦戦等により、前回予想を下回りました。利益面では、一層のコストダウン活動や価格改定の推進により国内事業では予想を上回ったものの、海外子会社における減収に伴う利益悪化の影響により、営業利益、経常利益は前回予想を下回りました。また、親会社株主に帰属する当期純利益につきましては、退職給付信託返還益や投資有価証券売却益の計上があったものの、中国子会社の阿基里斯(佛山)新型材料有限公司において減損損失を計上したこと等により、前回予想を大きく下回りました。

5. (1) 2025年3月期通期個別業績値と実績値の差異 (2024年4月1日～2025年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	65,500	350	950	2,550	179.72
実績値 (B)	62,705	554	1,322	1,514	108.56
増減額 (B-A)	△2,794	204	372	△1,035	
増減率 (%)	△4.3	58.5	39.2	△40.6	
(ご参考) 前期実績 (2024年3月期)	60,992	△1,301	908	△6,905	△471.20

(2) 差異の理由

売上高は、国内での住宅市況の低迷や車輦内装用資材の苦戦により、前回予想を下回りました。営業利益、経常利益は一層のコストダウン活動や価格改定の推進により前回予想を上回りましたが、当期純利益につきましては、退職給付信託返還益や投資有価証券売却益の計上があったものの、関係会社株式評価損の計上等により、前回予想を大きく下回りました。

6. 役員報酬の減額について

2025年3月期通期の個別業績における各段階利益は全て利益計上となったものの、連結業績においては親会社株主に帰属する当期純損益のみ利益計上となり、営業・経常損益については3期連続の損失計上となりました。

この結果を真摯に受け止めるとともに、その経営責任を明確にするため、以下のとおり役員報酬の減額を行うことといたしました。

(1) 役員報酬減額の内容

代表取締役社長 : 月額報酬の40%  
 取締役会長 : 月額報酬の30%  
 常務取締役 : 月額報酬の30%  
 取締役 (監査等委員を含む) : 月額報酬の20%  
 ※社外取締役を除く

(2) 対象期間

2025年4月より 2025年6月まで (3ヵ月間)

本日、当社は長期的に目指す姿と、それに基づく3カ年の方向性を示す『中期経営計画（FY25～FY27）』を公表いたしました。各施策を着実に実行することによる収益力の再構築・強化に向け、経営陣一同、邁進する所存でございます。

今後とも株主の皆様をはじめとする関係各位のご支援を賜りますよう、何卒よろしくお願い申し上げます。

以 上